

2005年3月31日

報道各位

ラサール インベストメント マネジメント インク

日産自の村山工場跡地を取得 ダイヤモンドシティと共同で東京都最大級の S C 開発へ

世界有数の不動産投資運用会社であるラサール インベストメント マネジメント インク（本社 米国イリノイ州シカゴ、CEO リン・サーバー）は 31 日、日産自動車が所有する旧村山工場跡地の一部を当社の不動産投資ファンドが組成した特定目的会社の「武蔵村山プロパティ特定目的会社」が取得したことを明らかにするとともに、商業施設専門ディベロッパー最大手の株式会社ダイヤモンドシティ（本社 東京都渋谷区、代表取締役社長 鯛 洋三、上場 東京/大阪第一部市場）と共同で東京都において最大級の郊外型ショッピングセンターを開発することを発表しました。

日産自動車の旧村山工場跡地は、立川、武蔵村山市にまたがる地域社会活性化の視点から跡地利用が注目されていました。

このたびの同工場跡地取得（取得面積 137,508.44 ㎡）は、当初の買主であった（株）ダイヤモンドシティから買主の地位譲渡を受け、日産自動車との間で信託受益権売買契約を締結、3 月 25 日に決済を完了しました。同工場跡地の取得額は約 124 億 7 千万円です。ショッピングセンター建設竣工後は、（株）ダイヤモンドシティが建物を一括して賃借する予定です。

なお、購入した武蔵村山工場跡地並びに開発予定のショッピングセンターは、当社が創設したアジア不動産投資ファンド“ラサール アジア オポチュニティー ファンドⅡ”（運用予定資産規模 3,000～4,000 億円）に組み入れられますが、今回の投資規模は弊社におけるアジア太平洋地域の専門投資ファンド並びに日本への投資案件の中でも最大のものとなります。

ところで、今回の一連の出来事について、当社の日本法人ラサール インベストメント マネジメント株式会社の代表取締役内山裕敬は、「グローバルなビジネス展開を図る弊社にとって、日産自動車村山工場跡地の取得と再開発構想、そして東証・大証一部上場の商業施設専門ディベロッパーの第一人者である（株）ダイヤモンドシティと共同開発できることは、弊社にとって今後の日本におけるビジネス発展に大きな追い風になることが期待されます」と語っています。

また、本件のディールに直接携わったナショナル・ダイレクターの西川嘉人は、「社会的に注目され、その再生の成り行きが注目されていた日産自動車の旧村山工場跡地に、東京都最大規模を誇る郊外型ショッピングセンターの建設実現によって、地域経済の活性化に貢献することができることや、（株）ダイヤモンドシティとの実績が証明するように、日本を代表する企業との融合の可能性から、今後の業務展開において選択肢を広げることができたことは意義が大きい。また今回の『ダイヤモンドシティ立川・武蔵村山 SC 建設構想』は弊社が新しく創設したアジア不動産投資ファンド“ラサール アジア オポチュニティー ファンドⅡ”の性格を象徴する優良物件となるだけでなく、日本における新たな機会の広がり的印象付けるものとなった」と感想を述べています。

添付資料：（仮称）ダイヤモンドシティ立川・武蔵村山ショッピングセンター計画概要

ラサール インベストメント マネジメント インクと（株）ダイヤモンドシティの概要

本件に関するお問い合わせ先：

ラサール インベストメント マネジメント 広報担当（IFC）：竹江 電話：03-5532-8921

資料

(仮称) ダイヤモンドシティ立川・武蔵村山ショッピングセンター計画概要

施設名称：	(仮称) ダイヤモンドシティ立川・武蔵村山ショッピングセンター
建築物概要：	多核モール型ショッピングセンター
所在地：	東京都武蔵村山市榎 1 丁目 1 番 3 東京都立川市上砂町 6 丁目 12 番 17
敷地面積：	137,508.44 m ²
延床面積：	約 150,000 m ² ～180,000 m ²
駐車場：	約 4,250 台

ラサール インベストメント マネジメント インク

ラサール インベストメント マネジメント インクは、世界最大の総合不動産サービスの企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ (ニューヨーク証券取引所上場：JLL) 傘下の、世界有数の不動産投資顧問会社である。世界規模で私募・公募、デット・エクイティのあらゆる不動産投資活動をしており、運用資産残高は 240 億ドル以上である (2004 年 9 月末現在)。

ラサールは欧米において商業施設に対して約 64 億ドルの投資実績があり、アジア・オセアニア地域でも既に 3.4 億ドルを投資している。日本国内では本物件のほか千葉県南船橋の『ビビットスクエア』、北海道千歳の『千歳アウトレットモール・レラ』等の商業施設物件への投資実績がある。

また、本物件はラサール アジア オポチュニティー ファンドⅡに組み入れる。ラサールでは、この他オフィスビルや高級賃貸マンション、物流施設物件も取得しており、欧米での多様な資産クラスの投資実績を活かして、日本においても商業施設も含め新しい投資機会を積極的に開拓している。

【ラサール アジア オポチュニティー ファンドⅡについて】

アジア リカバリー ファンドに次ぐアジア太平洋地域不動産投資に特化したファンド。日本、韓国、シンガポールなどに投資をする。欧米の機関投資家および大手年金基金が主要投資家。同ファンドの運用資産規模予定は 3,000～4,000 億円で、そのうち約 60～70%は日本の不動産に投資予定である。

株式会社ダイヤモンドシティ

本社	東京都渋谷区 3 丁目 12 番 18 号
設立	1969 年 3 月 20 日
代表者	代表取締役社長 鯛 洋三
資本金	61 億 4,570 万円 (2004 年 8 月末現在)
従業員	210 名 (2004 年 8 月末現在)
大株主	イオン株式会社 (株主構成比率 29.62%、2004 年 8 月末現在) 三菱商事株式会社 (同 29.61%、2004 年 8 月末現在)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
決算期	毎年 2 月末日

以上